

# 雪国植物園 造園40周年

## 会員加入のお願い

**花**があるから優しくなれる、  
**緑**があるから元気になれる

残したい、そして伝えたい…

ふるさとの自然と心

あなたの力を次世代につなぐ雪国植物園へ

— **SDGs 長岡**を考えよう! —

公益社団法人 平成令終会 雪国植物園



雪割草



シラネアオイ



ヒメサユリ

# 長岡市民手作りの宝物「雪国植物園」造園 40 周年

## — 未来づくりへ、会員加入のお願い —

### 趣意書

長岡市西部、雲出地区の丘陵 35ha に広がる雪国植物園は、昭和 60 年に市民グループが長岡市から用地の提供を受け、実現へ向け動き出してから来年の春で 40 周年の節目を迎えます。（開業は平成 8 年 4 月）

雪国植物園は二つの大きな特徴を持っています。一つは植栽する植物は地域に自生するものに限り、自然の生態系と人の営みとの「共生」をテーマにしていること。もう一つはまちづくり、地域づくりへの市民参加を大きな目標として掲げ、行政と市民との協働のモデルケースとなっていることです。

今、地球温暖化などの環境問題が危機的な状況を迎え、持続可能な社会（SDGs）の実現へ向けた市民参加と意識改革が課題となっていますが、この雪国植物園の持つ二つの特徴はその課題を 40 年以上先取りしてきたと言えます。

しかし、その整備、維持管理は財政的に厳しい中で推進され、造成時から中心的役割を果たしているメンバーが背負っていましたが、未来へ向けて多くの企業並びに市民参加によって持続出来る組織へと変えて行きたいと思えます。

全国に誇れる里山の自然生態系保全に根差した雪国植物園が長岡にあり続けるということは、長岡市民の「シビックプライド」とも言えるのではないのでしょうか。

当会の命名の由来となった、大正時代の「令終会」は、市内の企業人らが資金を出し合い、今や長岡市のシンボルとなった悠久山公園を長岡市に寄付しました。

令和 7 年 4 月の完工式までに「会員 700 名」を目標に募集活動に取り組むことといたしました。

この「地球」を地球市民が守り、次の世代へ長岡の『宝物＝雪国植物園』を残していくために、皆様の「会員加入登録」を切にお願い申し上げます。

公益社団法人 平成令終会 理事長 大原 興人

---

その先の未来へ “SDGs”  
地球を守り、地域の環境を守るために  
わたしたちには何ができるのでしょうか！  
未来づくりに参加しましょう。

---



## 平成令終会・雪国植物園運営組織

### 公益社団法人 平成令終会

理事長 大原 興人  
 副理事長 木村 信男  
 〃 細川 恭一  
 専務理事 大原 久治  
 理事 安達 英夫  
 〃 大島 基夫  
 〃 反町 和夫  
 〃 平澤 平四郎  
 〃 深見 政英  
 〃 原 和彦  
 〃 渡邊 泰崇  
 〃 広川 和義  
 〃 峰 政祐  
 〃 田村 和仁  
 〃 大井 尚敏  
 〃 西方 勝英  
 〃 池田 明彦  
 〃 石田 幸雄  
 〃 森 康二  
 〃 小林 啓之  
 〃 上村 宏亮  
 〃 佐藤 善信  
 〃 長原 裕幸  
 監事 高野 敏彦  
 〃 伊丹 敏彦

パートナー会員

法人・団体会員

個人会員

### 公益社団法人 平成令終会

総 会

理 事 会

理 事 長

専 務 理 事

### 運営企画委員会

広 報

植 栽

会員増強

企 画

市 民 参 加

## 雪国植物園への メッセージ

## 「雪国植物園造園40周年に寄せて」

(公社)にいがた緑の百年物語緑化推進委員会

理事長 平山 征夫 氏



雪国植物園造園40周年を心よりお祝い申し上げます。この間植物園の充実、整備に尽力された大原久治さんら関係者の方々のご努力に敬意を表します。春の雪割草、夏のノハナショウブ、秋のリンドウなど季節ごとに地元里山の草花が咲き誇る見事な植物園になりました。市民憩いの場であり自慢の場所となりました。

今夏の猛暑にも見られる気候変動は、人類最大かつ喫緊の課題です。雪国植物園の一層の充実は、その見地からも極めて意義深いことです。私が推進しています「にいがた緑の百年物語」＝木を植える県民運動の趣意にも相通じるものです。今後、さらに多くの方々が雪国植物園の一層充実発展の支えになられますことを心より期待しております。そして元気で優しい街を創りましょう。



ノハナショウブ



ヤマユリ



ニッコウキスゲ

# 会員登録をお願いします。

趣旨に賛同し会員登録を希望される皆様へ

## 会員年会費と特典

| 会員種別       | 年会費          | 特典（入園無料）     |
|------------|--------------|--------------|
| 1. パートナー会員 | 1口 100,000 円 | 会員本人と同行者5名まで |
| 2. 法人・団体会員 | 1口 30,000 円  | 会員本人と同行者3名まで |
| 3. 個人会員    | 1口 10,000 円  | 会員本人と同行者1名   |

何口でも承ります。申込みは別紙「入会申込書」にご記入ください。

## 「パートナー会員」とは

雪国植物園と協働で「日本一の植物園造り」を目指すパートナー。  
具体的には各シーズン毎の花々の群生したスター造り。  
運営企画委員会に参加し、助言を行っていただきます。

## シーズン毎の花・群生プロジェクト

|                |     |                      |
|----------------|-----|----------------------|
| <b>早春</b> の山野草 | 3月  | オオミスミソウ／フクジュソウ／カタクリ  |
|                | 4月  | シラネアオイ／エチゴリソウ／ミズバショウ |
| <b>盛春</b> の山野草 | 5月  | エビネ／クリンソウ／ヒメサユリ      |
|                | 6月  | ノハナショウブ／ニッコウキスゲ／キキョウ |
| <b>夏</b> の山野草  | 7月  | ヤマユリ／クガイソウ／ヒツジグサ     |
|                | 8月  | キツネノカミソリ／センニンソウ／ヤブラン |
| <b>秋</b> の山野草  | 9月  | ヒガンバナ／アケボノソウ／ホトトギス   |
|                | 10月 | リンドウ／ツワブキ／オクトリカブト    |



ツワブキ



ヒガンバナ



オクトリカブト



# 雪国植物園のあゆみ

## ■設立の経緯

- ・長岡市雲出地区にある雪国植物園の園内では現在 600 種以上の草花が来場者を楽しませてくれます。40年以上前、後に園長を務める大原久治氏が、近くの里山の山野草に魅せられ山歩きを重ねるうち、荒廃していく里山を放っておけなくなりました。大原氏が山歩きをしていた場所は生活の為の里山で、それが放置され荒廃が進み人を寄せ付けない無残な姿になっていました。
- ・長岡青年会議所時代に学んだ「令終会」の思想を思い出し、放置された里山を植物園にして守る構想が生れる。使用する土地 35ha の購入を長岡市長に交渉し、無償で使うことが可能となりました。覚悟を示すため趣味の釣りやテニスも止め、全ての役職も辞めました。また、賛同する会員を募り、汗を流すボランティアを組織しました。大原久治氏・男盛りの50歳の時でした。
- ・樹木を伐採し低灌木を刈り、小型車道と散歩できる道をつくり、階段を木の枝で補強しました。平成8(1996)年のオープンまで実に11年の歳月を要しました。その組織を「社団法人平成令終会」とし、理事長を産業界のトップである長岡商工会議所会頭とし、初代理事長に渡辺健三氏が就任しました。平成26年4月、「公益社団法人平成令終会」に改組。

## ■植物園の理念

「地球の自然を主役とし、力を持ちすぎた人間が脇役に徹し、自然と共生の道を歩く」

## ■目的

- ① 日本海側の里山の自然生態系を保全
- ② 高齢者を含め市民参加のまちづくりの受け皿
- ③ 次世代の子供たちへの自然教育の場の提供。

現在、雪国植物園には山野草、樹木、シダ類など 872 種の植物が生育し、鳥類 80 種、トンボ 40 種、チョウ 45 種、ホタル 3 種、その他メダカ、サワガニ、カエルなど多くの生物が生息している。

## ■事業活動が高く評価され、平成14年以降数多く表彰されました。

- ・「環境保全賞」
- ・「花の観光地づくり大賞」日本観光協会より
- ・「保全活動部門表彰」環境大臣より
- ・「都市緑化功労者表彰」国土交通大臣より など

## ■公的「認定」に向けて

- ・造成開始から40年になる令和7(2025)年、大原園長 90歳の節目に合わせ完工式を予定。過去の実績を踏まえて環境省主導（G7サミットで合意）の「30by30」[OECM]＝(2030年迄に陸・海の30%以上を健全な生態系に回復させることで、森林等の保全回復に必要とされる温暖化を 1.5℃未満に安定出来る事業)に取り組みます。
- ・環境省からの認定を受けることによって雪国植物園の価値の向上や交流人口の増加を通し、地域活性化につなげて行きます。

## 令終会と悠久山公園（温故知新）

■大正5年、山田又七氏（宝田石油社長）は田村文四郎氏（北越製紙創業者）を訪ね、「我々は年をとった。やがて死んでいく。今まで長岡には大層お世話になった。恩返しでもないが、次なる長岡市民のために、60歳以上の年寄りが金を出し合って立派な公園を作って、長岡の町に贈りたいとおもうがどうだろう」と話かけたという。田村氏は早速大賛成と承諾し、二人で当時の長岡経済人をまわり、多くの賛同者が集まった。令終会の誕生である。「令終」とは人生の終わりを全うするという意味で『人生の終わりを全うせしむるに、自己の私財を善用し、末を誤ることなかれ』と呼びかけた。家一軒500円で建てられた時代に8万円（現在の40億円に相当）を超える寄付が集まり、日本一の公園設計者である長岡安平氏に悠久山公園の設計を依頼、3年後の大正8年5月に完成し、長岡市に寄付した。



山田又七



田村文四郎



長岡安平

## 環境省の「30by30」「OECM」とは

### ■「30by30」

2021年G7サミットでは、2030年迄に生物多様性（様々な生き物が、異なる環境で自分たちの生きる場所を見つけ、互いに違いを生かしながらつながり、調和している事）の損失を止め、総面積の陸と海の30%以上を保護地区として保全する事を約束した事。

現在、日本では陸域20.5%と海域13.3%を保護地域として保全している。

### ■「OECM (other effective area-based conservation measures)」

保護地域以外（里山、水源の森、都市の緑地）で生物多様性保全に貢献している地域のこと。

平成令終会では40年前から定款に定められたとおり、県内外の人々の参加により、雪国里山の樹木、山野草等の保護育成に関する事業を行い、地域の自然環境の保全に寄与しています。

OECMに認定されると、世界の保護区データベースにその場所が登録され、企業・団体の価値の向上、観光や交流人口の増加など持続可能な地域づくりを通し、地域活性化につなげていきます。

— 自治体・企業・市民が力を合わせ達成を目指しましょう —



環境省 30by30 ホームページ